

研究推進委員会通信

令和元年6月14日

第1回授業研究会の参加者の感想を共有したいと思います。これからの授業改善の参考にしてください。

授業に取り入れたいこと

- ・苦手意識のある英語を、身近な歌を利用し考えさせる手法（保健体育）
- ・生徒主体のグループ活動、これから求められる力を育成するには有効的（芸術・家庭）
- ・生徒の声かけを大切にし、自己肯定感をもたせる手立て（芸術・商業・理科・英語）
- ・一般的ではない自分の主張を見出すことができる授業（数学）
- ・グループで考えを交流し、作品を制作して全体に発表できる場を設けたい（理科）
- ・根拠をつけて意見を述べるクセをつける（英語）
- ・生徒をその気にさせる教材、話術（数学）
- ・生徒が発表する際の工夫（芸術）
- ・教師が話しすぎず、生徒の意見をしっかりと聞くこと（芸術）
- ・グループ内で「司会」「書記」「なんでも肯定」などの役割をきめること（数学）
- ・同じゴールでも様々な過程があること（商業）
- ・多様な価値観を受容できる人が育つ（英語）
- ・枠にとらわれない授業展開（数学）

授業改善として取り組んでいること

- ・生徒に興味関心をもたせるような話題や教材の選定（保健体育）
- ・毎時間に振り返りコメントについて、できたことや次回頑張りたいことなど内容を充実させている（芸術）
- ・仲間との教え合いの時間を設けている（芸術）
- ・ICT機器の活用を模索中（家庭、理科）
- ・生徒が発言できる時間を設ける（商業）

本校の研究主題「読解力の育成」にむけて取り組んでいること

- ・生徒に考えさせ、自分なりの意見を持ち、発表させること（保健体育）
- ・常に相手側のことを考えて、制作させている（芸術）
- ・できたことを実感させるように、できたことを認めるようにすぐほめる（芸術）
- ・解法を読んで、なぜその発想になるのかを考えさせ、発表させている（数学・数学）
- ・資料の読み解きを図で表現するなど視覚的にとらえるようにしている（理科・家庭）
- ・生徒の実態に合わせて、学習内容や取り扱い方を選択する（数学）

異校種の先生からのご助言

- ・若い先生が積極的に発言し、発表する姿が良かったし、内容も興味深かった。参観の際の視点がわかりづらい？
- ・雰囲気良かったので、意見交流もしやすかった。
- ・授業の中での目標・評価方法の手法がわかりにくかった。

生徒の変容を確認するには、生徒自身が変容を確認できる手立てが必要です。今回は「授業後の生徒の（成長した）姿を想像しにくかった」のかもしれませんが、そういった課題を解決するために「目標（めあて）」や「評価方法の共有」が必要だと感じました。ぜひ前期中に何ができるのかを考えてみてください。